

鳥取市水道局「週休2日工事」実施要領

1 目的

建設業界は、これまで社会資本の建設や補修、維持管理等を行い、地域経済の一翼を担うとともに災害の未然防止や災害時における応急対策、復旧などに努め、市民の生命と安全を守ってきたが、就業者の高齢化や若手技術者の離職などによる担い手不足によって、将来にわたって安定的に社会資本を維持していくことが困難な状況となっている。

この問題を解決するためには、建設業界においても働き方改革を推進していくことが必要であり、具体的な施策の一つとして挙げられるのが「週休2日制の推進による休日の確保」である。

本要領は、建設現場における週休2日工事の実施にあたり必要な事項を定めるものとする。

2 対象工事

週休2日工事の対象は、鳥取市水道局が発注する全ての建設工事とする。ただし、以下の工事については対象外とする。

(1) 緊急性を要する工事

(2) そのほか発注者が相応しくないと判断した工事

例)・現場条件の制約等により標準工期が確保できない工事

・現場での施工期間（実作業日数）が1週間未満の工事 等

3 用語の定義

この要領における用語の定義は、次に定めるところによる。

(1) 週休2日

以下の①から③を総称して、「週休2日」という。

① 完全週休2日（土日）

対象期間において、全ての週で土曜日かつ日曜日（以下「土日」という。）に現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

なお、天候、災害対応等により、受注者の責によらず、やむを得ず平日に現場閉所し、土日に施工せざるを得ない場合は、土日に代わる現場閉所日に現場閉所することで、完全週休2日（土日）を実施したものとみなす。1週間は月曜日から日曜日までを基本とし、土日に代わる現場閉所日は、原則として同一週又は同一週の前後の週とする。

また、夜間工事の場合は、土曜日から日曜日へ跨ぐ夜間、日曜日から月曜日へ跨ぐ夜間（作業開始時点の日を対象）に現場閉所されていれば、完全週休2日（土日）を実施したものとみなす。

② 月単位の週休2日

対象期間において、全ての月で4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

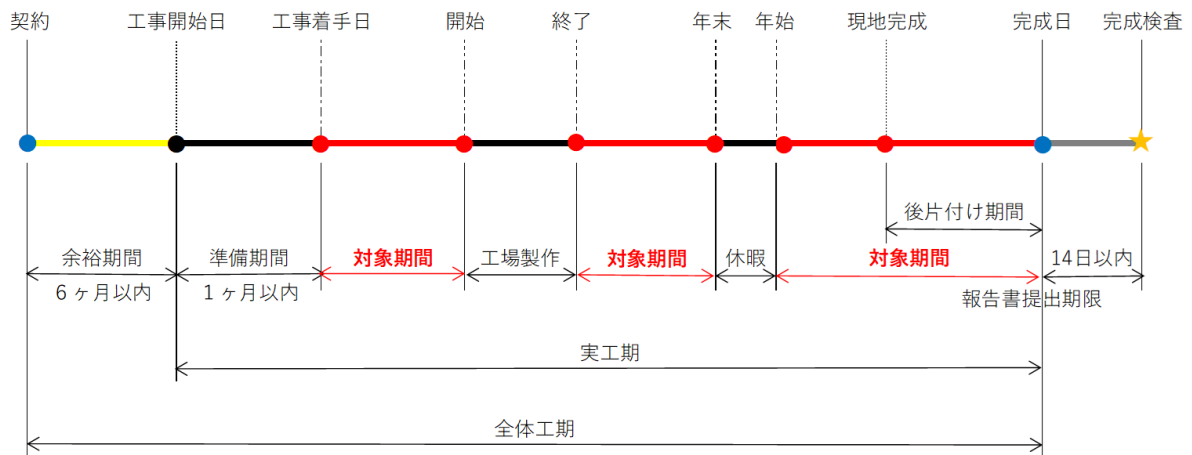
③ 通期の週休2日

対象期間において、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

(2) 対象期間

工事着手日から工事完成日までの期間をいう。ただし、余裕期間、年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は対象外とする。

【対象期間のイメージ】



※「工事開始日」とは、工事の始期日または設計図書において規定する始期日をいう。

※「工事着手日」とは、工事開始日以降の実際の工事のための準備工事（現場事務所棟の建設又は測量を開始することをいい、詳細設計を含む工事にあってはそれを含む）の初日をいう。

(3) 現場閉所

巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

(4) 閉所日

対象期間において、現場閉所が行われた日をいう。

(5) 4週8休以上

対象期間日数内の現場閉所日数の割合（以下、「現場閉所率」という。）が、28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態をいう。ただし、月単位の週休2日について、暦上の土日の閉所で28.5%に満たない月は、その月の土日の合計日数以上に現場閉所を行ってれば、28.5%以上を達成しているものとみなす。

なお、降雨、降雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。

4 実施方法

(1) 発注者は、週休2日工事の実施に当たっては、「週休2日工事」である旨を現場説明書に明示する。

(2) 発注者は、土日、国民の祝日における現場閉所並びに年末年始及び夏季休暇、また降雨、降雪等による作業中止などによる現場休止を考慮した工期を設定しなければならない。

- (3) 受注者は、対象期間において、完全週休2日（土日）の実施に取り組み、週休2日の取得推進に努めること。

なお、地域の実情や現場の状況等を踏まえ、月単位の週休2日、通期の週休2日等も含めて適切な方法により取り組むものとする。

- (4) 受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じた場合、必要に応じて監督員と協議を行い、当該期間を週休2日の対象外とすることができる。

なお、天候等により休工した場合は、閉所日として取り扱うものとする。

5 工期の変更

工期の変更については原則として認めないこととするが、受注者の責によりがたい以下の場合には適切に行う。

- (1) 施工条件等の変更により、全体の工程に影響が生じた場合
- (2) 工事中止などにより全体の工程に影響が生じた場合
- (3) 著しい天候の悪化等のため作業不稼働日が多く発生した場合
- (4) 資材等の調達が困難なため全体の工程に影響が生じた場合
- (5) その他特別な事情により全体の工程に影響が生じた場合

6 確認方法

- (1) 発注者は、週休2日の取り組みについて、現場閉所の実績が確認できる資料（以下、『実績確認資料』という。別紙、休日等取得報告書（参考様式）参照。）により適宜把握し、把握した内容を「監督業務チェックリスト」に記載する。

- (2) 受注者は、工事完成日までの実績確認資料を監督員に提出すること。

なお、書類の作成負担等を考慮し、現場閉所の実績が確認できる資料の根拠資料（現場閉所実績が確認できる工程表、休日等の作業連絡記録、安全教育・訓練等の記録資料等）の提出は不要とし、監督員から求められた場合に提示すること。

7 その他

- (1) 週休2日工事において、週休2日が確保出来なかった場合でも、直接的な工事成績の減点（ペナルティ）は行わないものとする。
- (2) この要領に定めのない事項については、必要に応じて受注者と発注者の協議により定めるものとする。

8 附則

この要領は、令和3年6月1日から施行する。

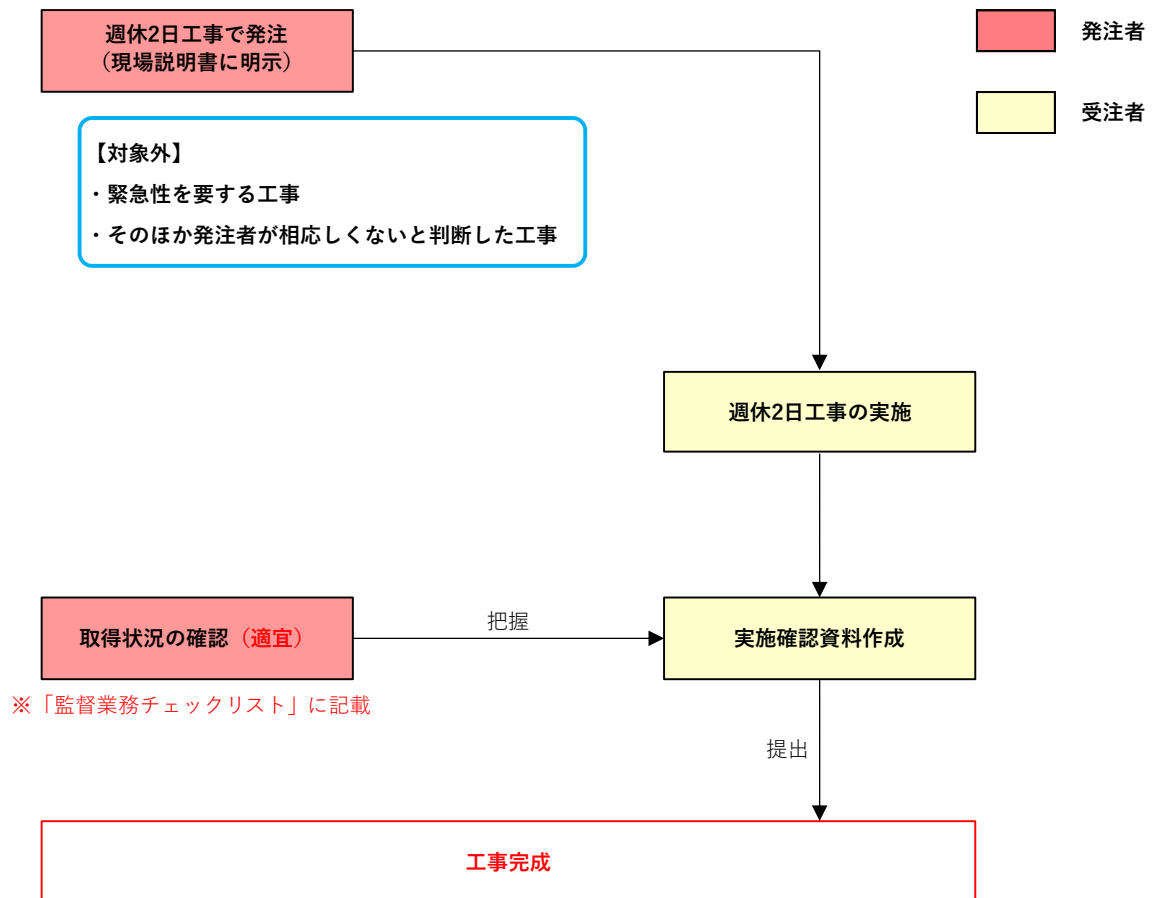
この要領は、令和5年4月1日から施行する。

この要領は、令和6年5月1日から施行し、同年4月1日から適用する。

この要領は、令和7年6月15日から施行する。

この要領は、令和8年5月15日から施行する。

週休2日工事の流れ



(参考様式)

休日等取得報告書

工事名	
工期	～
受注者名	

工事着手日		対象日数	日
工事完成日			
夏季休暇	～		日
年末年始	～		日
工場製作期間			日
工事中止期間			日
その他対象外期間(※2)			日

【達成状況】

週休2日区分	結果
完全週休2日(土日)	達成or未達成
月単位の週休2日	達成or未達成
通期の週休2日	達成or未達成

【凡例】

対象期間
 土・日(対象期間内)
 対象外期間(※1)
 祝日(振替休日)

※1 「対象外期間」とは、実施要領3(2)による、週休2日工事の対象外期間をいう。

※2 「その他対象外期間」は、発注者があらかじめ対象外としている期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間を記入する。

※3 「土日日数以上の閉所」は、現場閉所率が28.5%未満の時に判定対象とする(対象外は“-”)。その月の土日日数以上の現場閉所日数が確保できていれば、“◎”とする(未確保は“(空欄)”)。[実施要領3(5)による。]

令和	8年	4月	対象期間の日数(日)						現場閉所日数(日)	月単位の週休2日			完全週休2日			【対象期間内の閉所日実績状況】 ※実績に、作業日は「(空欄)」、閉所日は「●」、振替閉所日は、「▲」、対象外期間は「×」を記入。 ※各【判定】欄は、達成していたら「○」、未達成「(空欄)」とする。
			月別の工事日数	土日日数	対象外期間					現場閉所率(%)	【判定】 土日日数以上の閉所(※3)	土日日数(日)	土日の振替閉所日数(日)	【判定】 完全週休2日		
					夏季休暇	年末年始	工場製作期間	一時中止期間							その他対象外期間	
令和	8年	4月							0.0%	◎	○				○	日付 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 曜日 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 実績
西暦	2026年															
令和	8年	5月							0.0%	◎	○				○	日付 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 曜日 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 実績
西暦	2026年															
令和	8年	6月							0.0%	◎	○				○	日付 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 曜日 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 実績
西暦	2026年															
令和	8年	7月							0.0%	◎	○				○	日付 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 曜日 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 実績
西暦	2026年															
令和	8年	8月							0.0%	◎	○				○	日付 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 曜日 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 実績
西暦	2026年															
累 計									28.5%	◎	○				○	【達成状況結果】 ○完全週休2日(土日)は、【判定】対象欄がすべて“○”の場合⇒“達成”。 ○月単位の週休2日は、【判定】対象欄がすべて“○”の場合⇒“達成”。 ○通期の週休2日は、28.5%以上の場合⇒“達成”。

※行数等は工事毎の工期にあわせて追加

通期

月単位

週単位